

秋田県における「障害者の生涯学習支援モデル事業」の取組

特 徴

- 部局横断した庁内連携組織モデル
- 県から市町村への啓発・普及モデル

<事業受託の背景>

- ・特別支援学校卒業生が、休日の日中を一人で過ごしているケースが多く、生涯学習の場や機会の充実が求められている。

H30事業概要

【県】

- 障害者のための生涯学習支援連絡協議会（庁内全部局連携組織）の開催（年2回）
- 連携協議会（有識者・関係団体・再委託先・庁内関係課による協議組織）の開催（年3回）
- 障害者の生涯学習推進フォーラムの開催（年1回）
- 県生涯学習センターによる障害理解特別講座の開催

【再委託先(3カ所)】

- 効果的な学習プログラムや実施体制の試行



「障害者の生涯学習支援モデル事業」の実施体制

①地域開放型カフェの運営を通じた共生の拠点づくり

【社会福祉法人】(北秋田市障害者生活支援センターささえ)

<特徴>

- ・地域のイベント等でのカフェ実施による地域活性化と障害理解の促進
- ・重症心身障害児（者）のカフェ参画の挑戦

<内容>

- ・特別支援学校とのコラボ
- ・東京都国立市との研修交流
- ・生涯学習イベントへの参加



②特別支援学校在学中からの社会教育施設の円滑な利用に向けたプログラム

【指定管理施設】(能代市中央公民館)

<特徴>

- ・在学中からの社会教育施設活用
- ・既存の公民館講座講師の活用

<内容>

- ・料理教室、ユニカール他
- ・地域の冬祭りへの参加
- ・特別支援学校教員に向けた研修フォーラムの開催



③地域の高校生ボランティアを巻き込んだ同世代交流型プログラム

【社会福祉法人】(湧上天王つくし苑)

<特徴>

- ・障害の有無にかかわらず同世代交流
- ・高校生のための事前研修を実施
- ・同世代交流による障害者のコミュニケーション能力の維持・伸長
- ・ひきこもりの状態にある障害者の参加

<内容>

- ・ボッチャ、ダンス
- ・オープンカフェ、餅つき他



効果的な学習プログラム・実施体制の情報提供

再委託先

県

効果的な学習プログラム・実施体制の開発依頼

県生涯学習センター

- ・調査研究
- ・市町村関係職員向け研修の実施
- ・県民への情報提供
- ・講座の実施

情報共有

【県連携協議会】

<実施回数> 年3回

<内 容> 効果的な学習プログラムの検討、連携体制等について協議

<構 成 員> 大学教授、県手をつなぐ育成会、就業・生活支援センター、相談支援事業所、市町村教育委員会生涯学習担当、再委託先事業所、特別支援学校、県障害福祉課、県特別支援教育課、生涯学習センター、事務局

事務局(県教育庁生涯学習課)

県生涯学習推進本部

【障害者のための生涯学習支援連絡協議会】

<実施回数> 年2回

<内 容> 庁内関係部局間での情報共有
<構 成 員> 福祉、労働、スポーツ、文化、特別支援教育等、障害者の生涯学習に関わる取組を行う庁内各課室担当者

情報共有

H30事業成果

- 全県フォーラム開催による障害者の生涯学習の理解啓発(約250名が参加)
- 再委託先と特別支援学校との連携の促進
 - ・社会教育施設及び社会福祉法人職員の特別支援学校授業研究会への参加
 - ・特別支援学校教員の講座参観等を通じた移行期に必要な学習プログラム等について情報交換の実現
- 教育委員会と障害者関係団体、障害福祉課との具体的な連携の実現

今後の方向性

2019年度

- ・再委託先5カ所（市町村への再委託を視野）
- ・地域の自立支援協議会への生涯学習関係者の参画
- ・生涯学習センターによるモデル講座の開催

2020年度

- ・全25市町村で障害者の参加可能な講座を実施
- ・生涯学習センターによる調査に基づく市町村への相談・助言等の充実